

無限の可能性を引き出す魔法のことば 「ようし、やってみよう！」

＜朝会でお話しました＞

この前は、「ゲーム脳」についてお話しましたね。覚えていますか？（はい。）水曜日は「ノーゲームデイ」ということを守っている人は？（全校生が挙手！）すごいですね。今日は、また、脳についてお話します。

ある学級に行ったら、画数の多い難しい漢字を学習していました。先生が「さあ、たくさん練習して覚えましょうね！」というのと、「むり！絶対むり！」ということばを言う人がいたのです。むりとは、漢字で「無理」と書きます。（大きな字を貼る）これは、どういう意味なのでしょうね？みなさんに聞いてみましょう。「できないという意味です。」「始めからやろうとしないで力を出さないことです。」その通りです。拍手。**理屈がない、どんな理由もないという意味**で、「むり！」と思った瞬間に、**あなたの脳の中のたくさんの力にふたがかぶさってしまって、持っている力が出せなくなってしまうのです。**

では、同じ「無」という字を書くのですが、これとは全く違う意味の言葉があるのです。どんな言葉だとおもいますか？それは、「無限」です。皆さんで読んでみましょう。これはどういう意味なのでしょう。これも皆さんに聞いてみましょう。「**可能性がたくさんあるということ**です。」「**数え切れないくらいたくさんあるということ**です。」「すばらしい。拍手。**あなたの脳の中には、まだ使っていない力がたくさん眠っています。**」「書く力」「話す力」「考える力」「運動する力」などです。その力を引き出すのは誰ですか？（自分！）そう、自分ですね。その**自分の力を引き出す「魔法のことば」**を教えましょう。（がんばるぞ！やるぞ！と口々に・・・）それは「**ようし、やってみよう！**」ということばです。みんなで言ってみましょう！「ようし、やってみよう！」

私がずっと前、新しい学校で2年生を担当したときのことで。「さあ、お母さんの絵を描きましょう。」と言ったら「えーっ、できない。むり！」という子がたくさんいたのです。「どうして？」と聞くと、「だって描いたことないもん。」と答えるのです。「そういう時はね、無理と言うのではなくて、ようし、やってみよう！というのですよ。」その日から、クラスの合言葉は「ようし、やってみよう！」になりました。お母さんの絵を描いた子たちは、大きな生き生きした素敵なお母さんが描けたので、みんなニコニコしていました。**何でも、まずやってみようということがいかに大事かわかりますね。**

では、全校生で魔法の言葉の練習をしてみましょう。

★うわあ、漢字がたくさん出てきた。覚えるのがむずかしそうだなあ。

大きな声で拳をふりあげて「ようし、やってみよう！」

★算数のこの計算、面倒だなあ。途中でごちゃごちゃしてしまいそう。

「ようし、やってみよう！」

★ぼくは、プールが苦手。寒そうだなあ。水に潜るのはちょっといやだなあ。

「ようし、やってみよう！」

★私は、給食の野菜がだいきらい。一口も食べたくないよ。

「ようし、やってみよう！」

生活の中で、これからあなたはたくさんの新しいことに出会います。そんな時、自分の力を信じて「ようし、やってみよう！」と声に出してどんどんチャレンジしてみてください。

